

本来は年度内活動を中心に取り纏めるべきであるが、本巻の性質上従来経過を含めて簡単に報告しておく。

[I] 経緯・概要（昭59年度まで）

- (1) 発足：昭和50年度，定員なし，事業費400～450万円／年
- (2) 所属：北大工学部（建築工学科），但し建物（同敷地）は理学部所属
- (3) 組織・運営
 - i) 実質総括責任者：地区部会長（酒井良男）が兼務，但し工学部（内）現職責任者（太田裕）を置く
 - ii) 運営（事業計画立案，予算運用…）：地区運営委員会（24名，現職＋OB）で協議・決定，開催（議長：地区部会長，1回／2ヶ月程度），アルバイト1名（現在 川崎美千代嬢）

[II] 最近の状況（昭60～現在）

- (1) 事業費関係
 - i) 昭60年度分事業費カット（昭60年6月判明），復活要望書を工・事務局経由で文部省に提出，工学部に支援要請，昭60年12月復活（但し，旅費を除く）
 - ii) 昭61年度分もカット，前年同様に要望書提出，12月復活（但し，旅費を除く）
- (2) 組織・運営関係
 - i) 酒井良男→若浜五郎（低温研）への地区部会長交替（昭61. 10. 1）
 - ii) 同時に地区部会・資料（センター）室の責任を2分，センター長に太田(工)を充てる
- (3) 出版物（最近年度）
 - i) 北海道における災害写真のスライド資料目録（昭60. 3）
 - ii) 自然災害科学北海道地区総会 講演収録（昭61. 1）
 - iii) 有珠山における地形変化・土砂災害と植生の回復：1977-1984 図表集（昭61. 3）
 - iv) 南米コロンビア国ネバド・テル・ルイス火山の1985年噴火と災害に関する調査研究（昭61. 3）

[III] 昭和61年度活動

- (1) 予算の執行
 - i) [配当額3,834,000-前年度繰越-809,975]=3,024,025を通常活動経費および本センター報告その他の出版等にあてる。

(2) 一般活動

- i) センター長他の交代 (昭 61. 10)
- ii) センター将来計画の検討 (昭 61. 10~)
- iii) 昭和 61. 11 沼田-雨龍地区に局発地震の調査実施 (本報告参照)
- iv) [センター報告] の発刊 (昭 62. 3)

(3) 地区総会

- i) 昭和 62. 1. 31, 北大低温研講義室にて地区部会と共催で行う
- ii) 年次報告および将来構想について計画案提示・討議
- iii) 特別講演の実施
 - 横山泉 (北大理学部教授): 火山噴火の予知について
 - 木下誠一 (北大低温研教授): 凍上災害について
 - 酒井良男 (北大名誉教授): 自然災害の思い出

(4) 出版

- i) 自然災害科学北海道地区総会 講演収録 (昭 61. 7)
- ii) 北海道地区自然災害科学資料センター報告第 1 巻 (昭 62. 3)